

経営比較分析表（令和5年度決算）

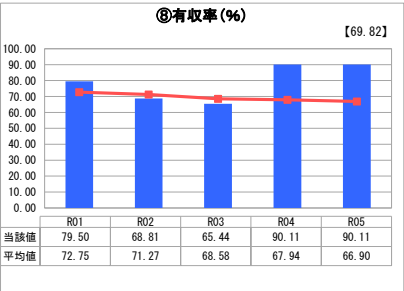
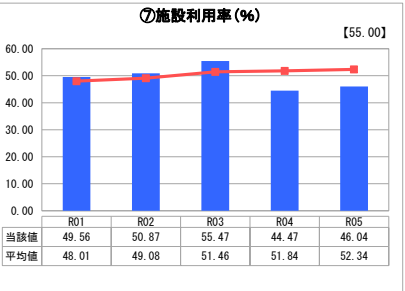
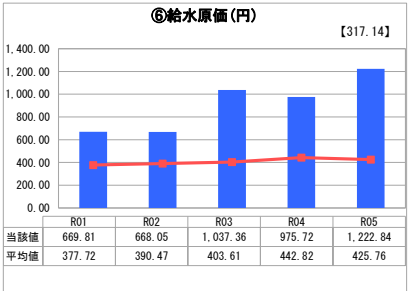
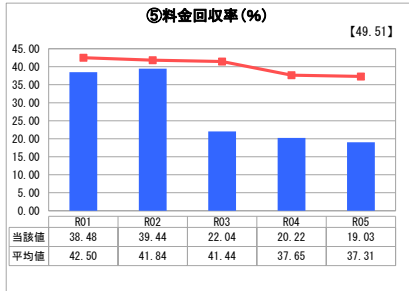
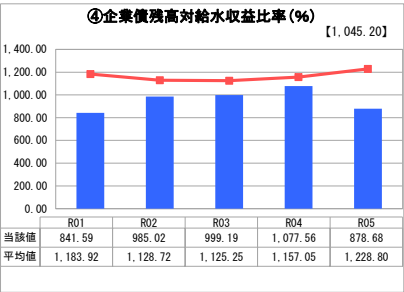
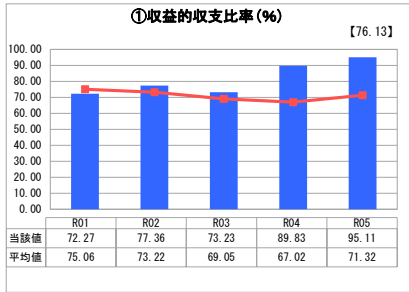
沖縄県 渡嘉敷村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	100.00	4,002	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
675	3.87	174.42
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
645	0.40	1,612.50

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率について引き続き類似団体平均値を僅かながら上回ったが、予定していた工事が繰越となったことが主な要因と考えられる。今後も経営改善に向けた取組を継続していく。

④企業債残高対給水収益比率については企業債残高が減少傾向だが、管路更新や法適用化によって企業債が今後増加していく為、経営改善を適切に行っていく。

⑤料金回収率については総費用額の増加、基本料金免除事業による料金収入の減少により左記当該地となった。費用抑制を継続しつつ料金改定のは非を踏っていく。

⑥給水原価については前述のとおり総費用の増加により著しく高い数値となった為、施設維持管理等適切に行っていく。

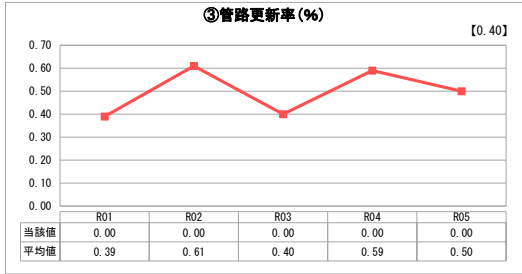
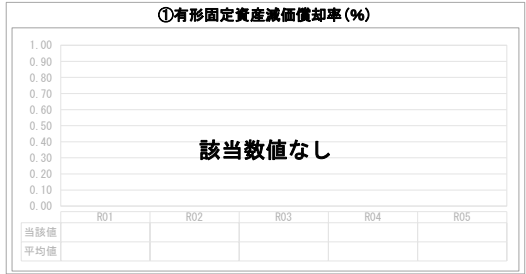
⑦施設利用率については、県企業局からの受水を予定していることから、著しい利用率の低下をしないよう図りたい。

⑧有収率については今後も漏水調査や管路更新等対策を講じていく。

2. 老朽化の状況について

集落内ではH15年度、集落外ではH9以前に布設されており既に20年以上が経過していたが、集落内の耐震化促進に向け管路更新工事を行った。今後も継続して行うため、更新率向上に期待したい。

2. 老朽化の状況



全体総括

昨年同様、管路更新工事等総費用の増加の影響により経営状態は良いとは言えないが、引き続き経営改善に向け取り組んでいく。R6年度に沖縄本島周遊離島水道広域化による県企業局からの受水や法適用化に向けて取り組む必要がある事から同時に経営健全化を推進していく。